

救急ニュース！



瀬戸内消防分署からお知らせです。

救急関連の情報などを掲載していますので、ぜひご確認ください。

血液と出血について

皆様の体内にある血液。その役割は、酸素や栄養などを体の臓器に運搬する働きをしています。その血液の量をご存じでしょうか？

体の中にある血液の量は体重の約8%の量だと言われています。

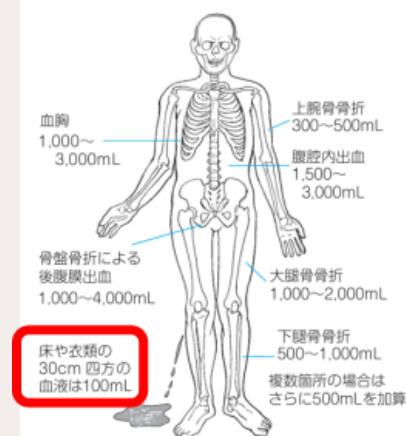
体重が50kgの人だと約4,000mlの血液があります。

そして体内にある血液が20%無くなると命の危険があります。

体重が50kgの人で例えると…

血液の量は4,000mlその20%は800ml。怪我などで800mlの血液を失うととても危険です。

右の図は骨折などにより、血管や体内にある臓器を損傷した場合の、出血量の目安となります。



止血法

出血に対する処置として…

直接圧迫止血法

を行いましょう。

直接圧迫止血法のポイント

- ① 傷口を直接圧迫して止血
- ② 怪我をしている部位を心臓よりも高く
- ③ 清潔なガーゼやタオルなどで傷口を抑える
- ④ 手袋の代わりにビニール袋の中に手を入れ傷口を押さえる

出血時間について

救急隊の到着時間は、全国平均約10分となっています。1分間に100mlの出血がある場合は、積極的に止血の処置を行いましょう。



※血液がサラサラになる、お薬を飲まれている方は、出血しやすくなっているので注意してください。

救急講習会について

瀬戸内消防分署では、救急講習会で命を救う知識、技術を教えています。

広報誌をご覧になられて、興味がありましたら、是非お問い合わせください。



大島地区消防組合

瀬戸内消防分署

救急係

☎0997-72-1190 FAX0997-72-1192

📍894-1508

瀬戸内町古仁屋芦瀬原1283番地175号

熱性けいれんについて

熱性けいれんは遺伝性があり、お子様の親御さんが発症したことがある。また、38度以上の熱が出た際に、起こしやすいです。救急車が到着する頃には治まっている場合が多いですが…次の2つが当てはまる場合は注意が必要です。5分以上続くけいれんや24時間以内に2回以上のけいれんの場合は、救急車をいつでも要請してください。